

院長室

楠岡英雄

【2015年度 研究発表業績】

A-0

Taniguchi T, Hamano G, Koide M, Hirooka K, Koretsune Y, Kusuoka H, Ohtani T, Sakata Y, Yasumura Y : Abdominal admittance helps to predict the amount of fluid accumulation in patients with acute heart failure syndromes. J Cardiol 2015 :S0914-5087(15)00165-3、2015年6月

Sakaguchi T, Yasumura K, Nishida H, Inoue H, Furukawa T, Shinouchi K, Miura H, Miyazaki K, Hamano G, Koide M, Abe H, Date M, Hirooka K, Koretsune Y, Kusuoka H, Yasumura Y : Quantitative assessment of fluid accumulation using bioelectrical impedance analysis in patients with acute decompensated heart failure. Circ J 2015; 79(12):2616-2622、2015年12月

A-2

楠岡英雄、佐藤 啓、青木 寛、井本匡則、高杉和弘、長谷藤信五、宮田雅代、鈴木政宏、平田一郎：治験に係る保険外併用療養費 解説と Q&A、pp.1-89、じほう、東京、2015年

A-4

楠岡英雄：「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」と臨床試験法制化：経緯と概要、腫瘍内科 16(1)：pp.5-9、2015年7月

楠岡英雄、神ノ田昌博、中西 理、坂田恒昭、山本晴子：彩都産学官連携フォーラム 2015 質疑及びディスカッション、大阪医薬品協会会報 798：pp.42-52、2015年7月

楠岡英雄：人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、DIABETES JOURNAL（糖尿病と代謝）43(3)：pp.131-132、2015年9月

楠岡英雄：わが国のトランスレーショナルリサーチ支援と臨床研究中核病院、あいみつく 36(3)：pp.54-58、2015年8月

楠岡英雄：臨床研究に関する新しい倫理指針への対応～病院管理者の責務等について～、日本病院会雑誌 62(12)：pp.1500-1517、2015年12月

A-5

今村知世、楠岡英雄、青谷恵利子、佐藤弥生、中濱洋子：治験の人材育成に関する研究、厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「治験活性化に資する GCP の運用等に関する研究」（研究代表者：渡邊祐司）平成 26 年度総括・分担研究報告書、pp.21-46、2015年3月31日

楠岡英雄、星 順子、森下典子、笹山洋子、松村泰志、若井修治、富士通、NEC：臨床研究・治験に従事する責任医師・分担医師の要件／治験関連文書の電磁的取り扱い／電磁的記録の

効率的運用ーデータ抽出システムのバリデーションによる SDV の簡略化、厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「治験活性化に資する GCP の運用等に関する研究」（研究代表者：渡邊祐司）平成 26 年度総括・分担研究報告書、pp.47-90、2015 年 3 月 31 日

楠岡英雄：臨床研究コーディネーター養成カリキュラムの標準化に関する研究、厚生労働科学研究費補助金医療技術実用化総合研究事業（臨床研究・治験推進研究事業）平成 26 年度総括研究報告書、pp.1-146、2015 年 3 月 31 日

楠岡英雄：臨床研究コーディネーター養成カリキュラムの標準化に関する研究、厚生労働科学研究費補助金医療技術実用化総合研究事業（臨床研究・治験推進研究事業）平成 25 年度～26 年度総合研究報告書、pp.1-60、2015 年 3 月 31 日

楠岡英雄：倫理審査委員会の認定制度と要件に関する検討、厚生労働科学研究費補助金医療技術実用化総合研究事業（臨床研究・治験推進事業）平成 26 年度総括研究報告書、pp.1-9、2015 年 3 月 31 日

楠岡英雄：倫理審査委員会の認定制度と要件に関する検討、厚生労働科学研究費補助金医療技術実用化総合研究事業（臨床研究・治験推進事業）平成 25 年度～26 年度総合研究報告書、pp.1-24、2015 年 3 月 31 日

楠岡英雄：治験審査資料の電子化による治験審査の効率化、厚生労働科学研究費補助金医療技術実用化総合研究事業（臨床研究・治験推進事業）「臨床研究・治験の IT 化推進のための実施プラン策定に関する研究」（研究代表者：松村泰志）平成 26 年度総括・分担研究報告書、pp.27-40、2015 年 5 月 31 日

横井英人、楠岡英雄：病院情報システムと EDC の連動による症例報告書作成とデータ収集の支援に関する研究ーレポートと EDC/CDMS とのインタフェースー、厚生労働科学研究費補助金医療技術実用化総合研究事業（臨床研究・治験推進事業）「臨床研究・治験の IT 化推進のための実施プラン策定に関する研究」（研究代表者：松村泰志）平成 26 年度総括・分担研究報告書、pp.146-161、2015 年 5 月 31 日

B-1

Kusuoka H：Developing Good Governance Systems to Promote Ethics in Clinical Research. FERCAP 2015、長崎、2015 年 11 月 23 日

B-3

楠岡英雄：わが国における臨床試験に関する規制・体制の今後。日本がん臨床試験推進機構学術集会、東京、2015 年 5 月 23 日

楠岡英雄：今、臨床研究に求められる Research Integrity とは 臨床研究の Research Integrity。第 15 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2015 in KOBE、神戸、2015 年 9 月 13 日

楠岡英雄：臨床研究の法制化。第36回日本臨床薬理学会学術総会シンポジウム、東京、2015年12月9日

B-4

Sakaguchi T, Inoue H, Nishida H, Yasumura K, Furukawa T, Shinouchi K, Miura H, Miyazaki K, Koide M, Abe H, Hirooka K, Koretsune Y, Kusuoka H, Yasumura Y : Novel quantitative assessment of fluid accumulation and its prognostic implication in patients with decompensated heart failure. The 79th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society、大阪、2015年4月26日

Sakaguchi T, Inoue H, Nishida H, Yasumura K, Furukawa T, Shinouchi K, Miura H, Miyazaki K, Koide M, Abe H, Hirooka K, Koretsune Y, Kusuoka H, Yasumura Y : Transtubular potassium gradient as a novel prognostic factor in patients with decompensated heart failure. The 79th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society、大阪、2015年4月26日

井上裕之、安部晴彦、上田恭敬、飯田吉則、鳥山智恵子、西田博毅、安村かおり、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、伊達基郎、是恒之宏、楠岡英雄：Clinical characteristics of HIV patients diagnosed as acute pulmonary thromboembolism. 第69回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月2日

松尾友香、笹山洋子、森下典子、高原由香、山崎邦夫、是恒之宏、楠岡英雄：臨床研究推進室と薬剤部の協同による治験薬管理体制の改善に向けた取り組みー治験薬マスター名称の現状と課題ー。第69回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月2日

柚本育世、阪崎志帆、田所知美、森下典子、濱 充代、辻本有希恵、松尾友香、笹山洋子、是恒之宏、楠岡英雄：大規模災害時の臨床研究等臨床研究等対応マニュアルの精緻化ーシミュレーションを実施してー。第15回CRCと臨床試験のあり方を考える会議、神戸、2015年9月12日

Koide M, Abe H, Yasumura K, Idemoto A, Shinouchi K, Miura H, Date M, Ueda Y, Koretsune Y, Kusuoka H : A Case of Acute Decompensated Heart Fraction Treated by Heart Rate Control. 第19回日本心不全学会学術集会、大阪、2015年10月22日

Sakaguchi T, Hirata A, Kashiwase K, Higuchi Y, Koretsune Y, Kusuoka H, Yasumura Y : Right Atrial Pressure Dose Not Reflect Body Fluid Status in Repeater Patients with Acute Decompensated Heart Failure. 第19回日本心不全学会学術集会、大阪、2015年10月22日

辻本有希恵、石山 薫、森下典子、松尾友香、阪崎志帆、柚本育世、田所知美、笹山洋子、名畑優保、是恒之宏、多和昭雄、楠岡英雄：「臨床研究に関する同意書管理マニュアル」の遵守状況について。第36回日本臨床薬理学会学術総会、東京、2015年12月9日

B-5

楠岡英雄：これからの研究機関ガバナンス～研究機関の長に求められること～ ガバナンスと権限。東京医科歯科大学 第1回研究倫理を語る会、東京、2015年11月9日

楠岡英雄：臨床研究の法制化。SOGO 学術委員会第 3 回シンポジウム、東京、2016 年 1 月 30 日

B-6

安村かおり、西田博毅、井上裕之、古川哲生、篠内和也、三浦弘之、宮崎宏一、小出雅雄、伊達基郎、安村良男、楠岡英雄、安部晴彦、是恒之宏：マラソン中に心室細動を発症した一例。第 119 回日本循環器学会近畿地方会、大阪、2015 年 6 月 20 日

西田博毅、飯田吉則、鳥山智恵子、井上裕之、安村かおり、井出本明子、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、伊達基郎、上田恭敬、楠岡英雄、安部晴彦、是恒之宏：深部静脈血栓・肺塞栓症に対してエドキサバンが有効であった一例。第 119 回日本循環器学会近畿地方会、大阪、2015 年 6 月 20 日

安村かおり、安部晴彦、鳥山智恵子、飯田吉則、西田博毅、井上裕之、井出本明子、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、伊達基郎、上田恭敬、楠岡英雄、是恒之宏：マラソン中に急性冠症候群を発症し、心肺停止となった一例。第 120 回日本循環器学会近畿地方会、大阪、2015 年 11 月 28 日

西田博毅、安部晴彦、飯田吉則、鳥山智恵子、井上裕之、安村かおり、井出本明子、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、伊達基郎、上田恭敬、楠岡英雄：短腸症候群・人工透析に合併したセレン、アルギニン低下により左室機能低下を認め、補充により改善した一例。第 120 回日本循環器学会近畿地方会、大阪、2015 年 11 月 28 日

飯田吉則、三浦弘之、鳥山智恵子、井上裕之、西田博毅、安村かおり、井出本明子、篠内和也、小出雅雄、安部晴彦、伊達基郎、上田恭敬、楠岡英雄、是恒之宏：トルバプタンによりカテコラミンから離脱できた重症急性心不全の一例。第 120 回日本循環器学会近畿地方会、大阪、2015 年 11 月 28 日

井出本明子、安部晴彦、飯田吉則、鳥山智恵子、井上裕之、西田博毅、安村かおり、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、伊達基郎、上田恭敬、楠岡英雄、是恒之宏：心拍数調節に難渋した頻脈誘発性心筋症によるうっ血性心不全の一例。第 120 回日本循環器学会近畿地方会、大阪、2015 年 11 月 28 日

井上裕之、安部晴彦、鳥山智恵子、飯田吉則、西田博毅、安村かおり、井出本明子、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、伊達基郎、上田恭敬、楠岡英雄、是恒之宏：担癌患者の持続性心房細動に対して NOAC 内服中に血清心嚢液を合併した一例。第 120 回日本循環器学会近畿地方会、大阪、2015 年 11 月 28 日

鳥山智恵子、小出雅雄、飯田吉則、井上裕之、西田博毅、安村かおり、井出本明子、篠内和也、三浦弘之、安部晴彦、伊達基郎、上田恭敬、楠岡英雄、是恒之宏：肥大型心筋症が疑われたが、管後型大動脈縮窄症の診断に至った一例。第 120 回日本循環器学会近畿地方会、大阪、2015 年 11 月 28 日

B-8

楠岡英雄：臨床研究に関する問題点と今後の展望。大阪共同治験ネットワーク研修会、大阪、2015年6月27日

楠岡英雄：「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」について～指針改定で、新たに求められる要件とは～。国立長寿医療研究センター臨床研究推進セミナー、愛知、2015年7月6日

楠岡英雄：臨床試験の役割とその実施体制（1）。大阪大学臨床医工学・情報学スキルアップ講座「医薬品の臨床評価の過程：入門」、大阪、2015年8月1日

楠岡英雄：～変革期を迎える病院医療～ 臨床研究に関する新しい倫理指針への対応 病院管理者の責務等について。日本病院会病院長・幹部職員セミナー、東京、2015年8月6日

楠岡英雄：治験・臨床研究倫理審査委員会と委員の役割。国立病院機構治験および臨床研究倫理審査委員に関する研修、東京、2015年10月6日

楠岡英雄：地域包括ケアシステム構築に向けての動き。平成28年大阪大学医学部第一内科同窓会、大阪、2016年1月9日

楠岡英雄：臨床研究・治験に従事する責任医師・分担医師の要件について。東京医科歯科大学アカデミア創薬を担う医師主導治験の活性化に向けて、東京、2016年2月16日

楠岡英雄：今後の診療報酬改定のメッセージを読み解く。第2回関西病院イノベーション展、大阪、2016年2月25日